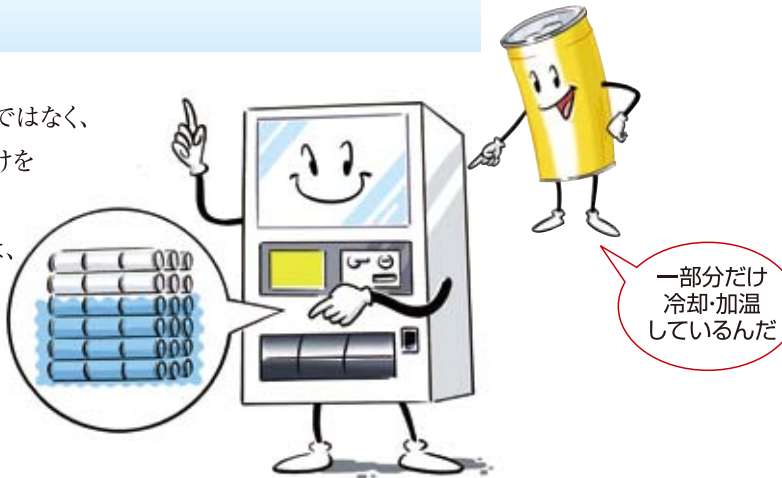


# 消費電力量の低減を果たしてきた さまざまな省エネ技術をご紹介します

## 必要な分だけ、こまめに冷却・加温 【部分冷却・加温システム】

冷蔵庫のように庫内全体を冷やすのではなく、部分的に、もうすぐ売れていく商品だけを冷やす(温める)機能です。どのくらいの量を冷やす(温める)かは、内蔵のマイコンが売れ行きなどから判断しています。これを学習省エネ機能といいます。



## センサーで照明をON・OFF 【照明の自動点滅・減光機能】

昼間は消灯、夜になると点灯。周囲の明るさを感知するセンサーにより、屋外型自販機は照明のON・OFFを自動コントロールしています。蛍光灯の明るさもインバーターで制御され、通常使用時の50%以下に抑えられています。



## エネルギーのロスを最小限に 【真空断熱材の採用】

商品をいかに効率よく冷却・保温できるか。このカギを握るのが断熱材です。現在、清涼飲料自販機に使われているのは、保温性にすぐれた真空断熱材(グラスウールなどを真空パックし金属フィルムで覆ったもの)。ためた熱や冷気を逃がさず、エネルギー効率を高めています。



## 夏の午後は冷却運転をSTOP 【エコ・ベンダー機能】

夏場の午後は電力需要のピーク<sup>\*</sup>。ですから午前中に商品をしっかりと冷やし、午後は冷却をストップしています。これがエコ・ベンダー機能、電力需要の集中を抑えることにより、CO2の排出抑制に貢献しています。北海道を除く缶飲料自販機のほぼ100%がこのタイプです。  
\*7/1～9/30の午後1時～午後4時

